

中建協会広報

発行所
一般社団法人秋田中央建設業協会
発行人

田中道

〒010-0951秋田市山王4丁目3番7号
TEL 018-862-7778
akenkyo@akenkyo.or.jp

秋田中央建設業協会 検索

『第41回 秋田県優良工事表彰式』

第41回秋田県優良工事表彰式が、8月31日(月)午後3時30分から秋田県庁正庁で行われました。

昭和55年から実施されているこの表彰は、県内建設企業の技術の向上を図ることを目的に、前年度に完成した県発注工事の中から、特に優秀な工事を選定して施工企業と監理技術者等を表彰するもので、今回は1,793件の対象工事の中から40工事が優良工事に選定されました。これらの工事は、自然条件や施工上の制約が厳しい中、優れた技術力と創意工夫により完成させているほか、品質確保、安全対策面にも配慮されており、この40工事のうち、当協会からは9工事が優良工事として表彰されました。

工事名	工事個所	施工業者	代表者
浜山ほか地区 防災林造成工事	湯上市 天王	(株)寒風	菅原 廣悦
八郎潟1期地区 基幹水利施設 ストックマネジメント工事	八郎潟町 夜叉袋	秋田瀝青建設(株)	齊藤 豊隆
天王海岸 海岸災害関連工事	湯上市 天王	(株)沢木組	沢木 則明
秋田港向浜地区 向浜ふ頭用地造成工事	秋田市 向浜	清水組・加藤建設 JV	清水 隆成
天王海岸 海岸災害関連工事	湯上市 天王	(株)板橋組	板橋 広光
新波川 床上浸水対策特別緊急工事	秋田市 雄和新波	(株)加藤建設	加藤 正己
天王海岸 海岸災害関連工事	湯上市 天王	(株)清水組	清水 隆成
雄和岩城線 道路災害復旧工事	秋田市 雄和相川	伊藤工業(株)	伊藤 満
秋田昭和飯田川線 県単道路補修工事	湯上市 飯田川飯塚	天喜建設(株)	天野 貴明



コロナ禍のため、秋田管内からは(株)沢木組 沢木則明社長が受賞者を代表して表彰状を受領しました。

高校生の現場見学会

男鹿工業高校

9月8日（火）男鹿工業高校生を対象とした現場見学会を開催しました。

設備システム科の1年生20名と先生2名が参加し、男鹿市船川の国道101号生鼻崎トンネル、秋田湾・雄物川流域下水道の臨海処理区、秋田空港管理事務所の3か所を見学しました。



生鼻崎トンネルでは、一昨年5月の豪雨災害により大規模な土砂崩落が発生したため、脆弱な法面の崩落対策としてボックスカルバート工事が行われ、この度完成したカルバートの屋根部分に上り、生徒全員で落書きをしたり集合写真を撮ったりしました。この後は覆土工が行われ、落書きをした屋根部分は土に覆われることになります。

下水道臨海処理区では、下水道のしくみについての映像を視聴した後、水質試験室で下水処理に欠かせない微生物を顕微鏡で観察しました。中央監視室ではパネルやモニターなどの機器類の役割について説明を受けました。



秋田空港管理事務所では、空港の概要や冬期の滑走路の除雪作業の様態などの映像を視聴し、その後空港管理道路をバスで周回し、滑走路やエプロン地区などを間近で見学しました。

秋田工業高校

9月10日（木）秋田工業高校生を対象とした現場見学会を開催しました。

土木科の1年生33名と先生3名が参加し、太平川（才八橋）、水沢橋、秋田中央公園、秋田空港管理事務所、(株)東北機械製作所の5か所を見学しました。

あいにくの悪天候のため、才八橋と水沢橋の2か所の現場は車中からの見学となりました。

才八橋では、(株)加藤建設の朝野さんから大規模河川工事の概要を聞きました。河川工事ならではの苦



労話や今まで携わった工事で印象に残ったことなどを話していただきました。

水沢橋では、秋田市と由利本荘市を結ぶ幹線道路の機能確保、老朽橋対策、重交通への対応などを目的に橋の架け替えと現道部のバイパス化を行っており、現在は橋梁の下部工を行っています。残念ながら、車中からは橋台と橋脚がわずかに見えるだけでしたが、大規模な建設工事は迫力があつたようです。



秋田中央公園ではテニスコートの改修工場の説明を受け、張り替え前と張り替え後の芝を比較したり、

ガーネットサンドの重さを確かめたりしました。

秋田空港管理事務所では、空港管理道路を周回して普段は入れない空港施設を見学しました。途中、目前で航空機が着陸する機会に遭遇し、皆が歓声を上げる一幕がありました。



(株)東北機械製作所では、工場内で溶接などの作業を見学した後、午前中に見学した水沢橋に架設予定の橋桁を実際に見ながら、橋の構造等を学びました。

金 足 農 業 高 校

9月17日(木)金足農業高校生を対象とした現場見学会を開催しました。

環境土木科の1年生35名と先生2名が参加し、太平川(才八橋)、秋田空港、秋田県立中央公園、ほ場整備(畑谷地区)、新城川の5か所を見学しました。

太平川では河川改修工事と才八橋架け替えについて説明がありました

秋田空港管理事務所では、空港管理道路をバスで周回し、滑走路やエプロン地区などを見学しました。

秋田中央公園ではテニスコートの改修工場の説明を受けました。



次に畑谷地区のほ場整備事業を見学しました。ほ場整備工事の進め方や実施内容について説明を受けた後、金農の先輩である(株)岡精組の佐々木さんや伊藤工業(株)の大友さんに近況をお話していただきました。



新城川では、毎年のように発生している洪水氾濫による家屋や農地への浸水被害に対応するための河川改修工事について、説明を受けました。

この見学会で感じたこと、学んだことを今後の進路に活かしていただき、地元の建設企業に少しでも興味を持っていただければ幸いです。

秋田中央地区建設技術推進協議会 技術研修会

秋田中央地区建設技術推進協議会（秋田地域振興局建設部・秋田大学・秋田中央建設業協会）主催の『技術研修会』が9月24日(木)午後1時00分から開催され、35名が参加しました。

はじめに当協会前において、武藤秀男会長（秋田地域振興局建設部部長）と加藤義光副会長（当協会会長）から開会にあたっての挨拶があり、続いて建設部堀内副主幹から日程説明の後、バス2台で現場に向かいました。

今回の現場研修は、令和8年度開通に向けて工事中の日本海沿岸東北自動車道「遊佐象潟道路」で行われました。

はじめに、国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所の担当者から工事の進捗状況及びコンクリート構造物の品質確保の手引き（案）についての説明を受けた後、市の沢橋上部工工事を見学しました。



本橋梁は、橋長87mのPC3径間連結コンポ橋で、工場にて製作されたプレキャストセグメント桁を現地にて組立架設を行い、桁間にPC板を架設後、横桁と床版コンクリートを打設するものです。

現場では、クレーンによる架設状況やセメントの50%を高炉スラグ微粉末で置換えた高耐久PC桁についての説明があり参加者は熱心に聞き入っていました。

また、当協会会員の株式会社沢木組が施工している飯森地区道路改良工事では、施工者希望Ⅱ型にてICT活用計画協議により施工している道路土工について見学しました。



最後に、秋田大学高橋良輔准教授から「担い手不足、作業員の高齢化が進む中、施工の省略可や作業効率を高めるための工夫が随所にみられて参考になった。また、コンクリートの品質確保に向けた取り組み等を含め、今後参加者の皆さんの現場で反映できるようお願いしたい。」との講評があり、現場での技術研修会は終了しました。

なお、11月4日に協議会の講習会を予定しておりますので、たくさんの参加をお願いいたします。

理事会・委員会

◎ 経営・総務委員会

9月11日(金)午前11時から開催し、次の事項について審議した結果、委員会として了とし、理事会に付議することとしました。

議 題

1. 会員権の継承について
2. 秋田県公共工事に関する要望(制度要望)について

(平野委員長、加藤(正)・珍田副委員長・小南・加藤(俊)・佐々木(徹)・千葉・中田・安田委員)

◎ 理事会

9月14日(月)午前11時から協会2階小会議室において第3回理事会を開催し、

次の事項について審議した結果、原案どおり承認されました。

議 題

1. 経営・総務委員会の開催結果について
2. 工事・技術委員会の開催結果について
3. 雇用・安全委員会の開催結果について
4. 経営・総務委員会の審議結果について
5. 協会行事予定について

(加藤会長、齊藤・長谷川副会長、沢木・平野・菅原(廣)・渡辺・伊藤(満)・小南・加藤(正)・石塚・伊藤(仁)・珍田・菅原(孝)理事、伊藤(久)監事)

◇ 会員権継承承認者

三和興業(株)

代表取締役 武田 昭彦